

フォトグラファーは帝京生自身！  
学生の視点から大学の魅力を伝える「#帝京生のリアル」  
京王新宿駅にて掲出  
～2023年から4年目で計 800 人以上の学生が参加～

学校法人帝京大学(本部:東京都板橋区、理事長・学長:沖永佳史)は、本学学生がカメラマンとなって撮影した写真を使った「#帝京生のリアル」を Instagram (@teikyo\_photo\_project) で投稿しています。また、4月6日(月)より写真を使った交通広告を京王新宿駅 中央地下連絡道で掲出します。今年で4年目を迎える「#帝京生のリアル」では、帝京大学の本当の魅力を伝えるために、本学のことを最もよく知っている在學生に特別仕様のカメラを配布、リアルなキャンパスライフを撮影してもらう試みを実施。実際に撮影された写真を使った22種のグラフィック広告が完成。グラフィック広告は八王子キャンパス、福岡キャンパスやそれぞれのキャンパス周辺でも今後展開していく予定です。



【「#帝京生のリアル」について】

特設 HP: [https://www.teikyo-u.ac.jp/campus\\_for\\_life/photo\\_project/](https://www.teikyo-u.ac.jp/campus_for_life/photo_project/)

帝京大学は「キャンパス for ライフ」をスローガンに、生きる力を育てるキャンパスライフを提案しています。本学キャンパスライフで経験できる豊かな体験や広大なキャンパスの魅力を、広く皆さまに知っていただくために、帝京大学の魅力を在學生の手で伝えるプロジェクトで、今年で4年目を迎えました。

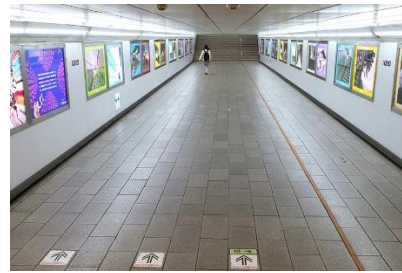
広告、Instagram で使われている写真はすべて、「帝京大学フォトプロジェクト」に参加した在學生および職員によって撮影されました。このプロジェクトでは在學生に特別仕様のカメラを渡し、帝京大学のキャンパスライフの魅力を在學生の視点で自由に撮影していただきました。授業の様子だけでなく部活やサークルの様子、食堂の様子といったさまざまなキャンパスライフの瞬間が切り取られ、22種の広告が完成、昨年からの累計で200を超えるInstagramの投稿も予定しています。多くの皆様“帝京生のリアル”な実りあるキャンパスライフを感じていただけたらと思います。

【京王新宿駅での掲出について】

掲出について:

〈京王新宿駅 中央地下連絡道アドストリート〉

2026年4月6日(月)～4月12日(日)



※画像は昨年掲出時のものです

【「#帝京生のリアル」広告について】



**#帝京生のリアル**

帝京大学の本当の魅力を知っているのは?いま、学生生活を送っている帝京生だ!毎年、現役の帝京生に特別仕様のカメラを配布。リアルなキャンパスライフを撮影してもらい、ポスターをつくり続けて、4年。プロジェクトがはじまった頃の1年生も、いよいよ卒業です。青春はあっという間。だからこそ、ここにあるのは、全力の「いま」。ぜひ、帝京生のリアルをご覧ください。

特設サイトはこちら  



一度叫んだら、  
恥ずかしさが飛んでた。

みんなといると、  
夜まで明ふ!

友達になるきっかけ1位、  
帰る方向が一緒。

自分の魅力。  
自分より友達が詳しい説。

素晴らしい、  
騒がしき日々。

バイトで買ったのは、  
みんなで走る時間。

いちばん強いのは、  
仲間をつくる才能。

性格の明るさで、  
未来を照らせ。

キャンパスって、  
帝京じゃない?



## 【学校法人 帝京大学概要】

理事長・学長: 沖永 佳史

本部所在地: 東京都板橋区加賀 2-11-1

ホームページ: <http://www.teikyo-u.ac.jp/>

創立: 1966 年

### 《 帝京大学とは 》

帝京大学は、1966年に東京都八王子市に開学しました。当初は文学部国文学科・英文学科、経済学部経済学科の2学部3学科、学生数200人から始まり、時代の変遷とともに学び舎としての可能性を広げてきました。生まれ持った個性を最大限に生かすべく知識と技術を身につけ責任をもった行動ができる人材の育成をめざすため教育理念として「自分流」を掲げ、教育指針として「実学」「国際性」「開放性」を定めています。2016年6月に創立50周年を迎え、各界で活躍する卒業生は15万人におよびます。現在では、板橋、八王子、宇都宮、福岡、霞ヶ関と5つのキャンパスを展開し、10学部30学科11研究科、在籍学生数約2.3万人を有する総合大学へと成長しています。2012年に板橋キャンパスのリニューアル、2014年に福岡新キャンパスの開設、2018年に八王子キャンパスの新校舎が竣工するなど、新しい時代のための環境整備が確実に進んでいます。